

◇胸の温度◇

（おれはレディが好きだ）

閉じたまぶたの下でサンジは思った。疲労した体は、ホワホワと眠りに落ちかけている。

そう、おれアレディが大好きだ。
風に揺れる花のようにたおやかな仕草、小鳥のごとく愛らしい声、レースのように繊細な心なんかには果てしなくメロメロだ。薄汚い野郎共とはもうハートの造りからして違う。クソと黄金とこの騒ぎじゃなく違う。

もちろんレディのボディも大好きだ。

特にどこが好きかっていうとだな、やっぱり世間一般の野郎共と同じく、あの神秘的かつ絶対的な懐かしさを秘めたバストじゃねえだらうか。

女性のオンプイってヤツはもう本当になあ。こう、あらがいがいい引力みてえなものがあるんだよな。

その形状が美しいこたアもちろん、あれほどいいおしい触感を持ったものはおそらく他に存在しねえ。

について言えば水の入った薄くソフトな皮袋に似ちやいるが、そんなもんよりもっとブニャっとしつつタブタブとシャーワセな感じに柔らかい。どんなに上手く焼き上がったマシユモロも、これ以上ないくらい絶妙なバランスで固まったゼリーだって、あの感じにはかなわねえ。海の一泓コックとして断言している。

それで、あったけえ。このへんもポイントだ。

あのあったかさはただの体の温度とは違う。なんつーか、女性だけが持つ深い愛？母性本能？みたいなんもんならしみ出すあったかさとおれア思う。いいもんも悪いもんも全部を包みこんでくれるような、やさしく守られていような、それでいて大切に守ってさしあげたくなるよーな、やすらぎのカタマリだ。

とか思っているサンジの頭の中では、今まで見てきた数々の女性の胸が、ピンクやオレンジの光に照らされてなんとも楽しくそうに揺れながら回っている。まさにパイオツのメリーゴーランド。

もーサイコウだぜレディのバスト。

あー、もみてえなあ、出来れば九十センチ以上で、ぶるんと両手から肉がはみ出しそうなヤツがいい。いいよなーデカパイちゃんはやー。

顔をうずめて眠りてー……。

「おい」

サンジの幸せな妄想は、男の低い声で一気に破られた。

世界がいつべんに汗臭い緑色になった気がした。（……どクソマリモ野郎が、邪魔しやがって）

サンジは少し顔をしかめたが、目を開けなかった。

「おいクソコック、寝やがったのか？」

（あーそーだ。おれアもう寝れたんだゆつくり寝かしてくれ）

そのままシカトしている。

聞こえてきたのは舌打ちの音と、頭をガリガリか

きむしる音。

床がギツときしみ、直後、両足の太ももを掴まれガツと開かれる感触。

サンジはあわてて目を開けた。目に入ったのは薄暗い格納庫の天井だ。

頭を上げて視線を足のほうに下ろせば、薄暗い中、サンジの股の間にいるゾロの姿が見えた。

「てめ、なにしがやる！……うあうつ」

太ももの付け根に熱い塊がぐいと触れてきて、サンジは思わずへんな声を上げた。

「なんだ起きたか、寝てる間にもう一発ヤつところと思ったのによ」

「アホかテメエ！ 目エ覚めるに決まってるんだろテメエと一緒にすんなボケが！」

サンジが怒鳴りながら必死に蹴りをくると、ゾロはあからさまに顔をしかめて舌打ちした。

「……一回くれエで足りるわけねえだらうが」

「ざけんな、おれア歯食いしばって慣れねエボジションについてやってんだ。テメエは死に物狂いで足らせ！」

しばらくドタバタとやるやらないの攻防があつたが、サンジがしぶとく蹴りを出し続けていたら、ゾロはようやくあきらめたようだった。隣の床にドカッと寝る。

「根性のねエ野郎だ」

「うっせークソが、少しは氣遣えボケ」

しばらくお互いに息を切らせて横になっていた。

二人とも素つ裸。アホな光景だった。

サンジはイライラしてタバコが吸いたくなつたが、視界に入る範囲にズボラが見当たらない。はじめるとき、ゾロにえらく切羽詰った様子で剥ぎ取られたから、多分どこかに乱暴にぶんどげられたんだ

迷走海底 紙

2003年3月29日発行

こんにちは！迷走海底のアジ郎です。

春らんまん！サンジが怖がっちゃう虫とかがいっぱいわきはじめる季節がきましたよ！

おいどんの考えた虫プレイ

『サンジを虫いっぱいの部屋に裸で閉じ込める』→『ビビりまくりの悲鳴上げまくり』→『裸のゾロを投入』
→『裸でゾロの後ろにかくれたしんがみついたりするサンジ』→『なんかカワイイかも』

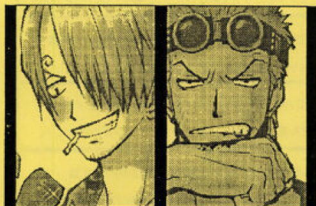
うーん、ゾロが裸の意味がないかな、裸にビンダナのためのゾロを投入、っつーか挿入、よし！

こないだお台場のワンピの催し物をこは一さんと見に行ったらサンジのレストランに並んでたら、目の前に並んでたのがビックラ仰天なゾロサン者達で、びくりました、本当びくりました。

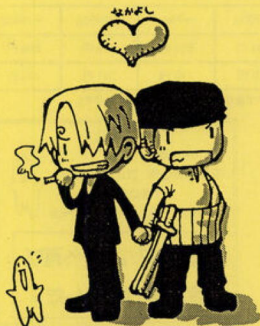
で、バラティエのへんのDVDを買ったんですが、サンジもゾロもういういっつーの！ガー！

そしてギドちんとの合同誌が無事出来てきそうなアンバイです、わーい！

3月29日新刊



表紙絵だったりします。これはおいどんのですがギドちの二人がすっぱーかわいいのだ。



「R」

B5 オフセ 68P/フルカラー表紙
漫画&小説/900円(200g)/18禁

■「KICKS」の雨暮ギドさんと合同誌！

テーマはエロティック。

と言っても私はいつも通りな感じなのですが、ギドちはやってくれおた。

いつもの胸キュンギドち+ヌルヌル+トロトロな感じでそして胸キュンでした。

ストーリー：ルフィ海賊団は時間の流れが速い海に閉じ込められてしまった、ゾロとサンジはHをする仲だがお互いの気持ちは・・・

■私のはもう本当相変わらずのものです。

いつも通りアホなコックと鈍感な剣士がいろいろな感じです。うーん。

ストーリー：ゾロとサンジはマスを抜き合う仲で、ゾロはそれだけだと思っているが、実はサンジはゾロのことが・・・

おなげし
余たのぞ
れんれいばくが
「おなげし」
小冒険
(CQ)



おなげし
は海賊の
アニマル
を度す
原に出たよ

つづく

迷走海底活動情報

今後のイベント予定は、5/3 にビッグサイトで行う「スパー・コミックシティ」に「東6ホール ま30-b」です。

サイトアドレス
http://www.din.or.jp/~botan/

携帯用サイトアドレス
http://www.din.or.jp/~botan/k.html

▼▼在庫案内▼▼

『迷走航海図』（再録本）A5 オフ 236P/表紙フルカラー/ノロサン小説/1700 円(410g)/18 禁

■内容 ■「て、さんぽ」「青缶」「GettingBang (ゲスト)」「晴」「フウバイカ」を加筆修正+書き下ろし少々

『Ⅰ[ONE]』A5 オフ 204P/表紙フルカラー/ノロサン小説/1500 円(370g)/18 禁

■内容 ■普段ケンカばかりのゾロとサンジだが、次第にお互いのことを意識しはじめる。書き下ろしパラレル 40 ページ

『Ⅱ[TWO]』A5 オフ 204P/表紙フルカラー/ノロサン小説/1500 円(370g)/18 禁

■内容 ■強姦未遂数回、初チュウ、誤解あった末、心もカラダもガッチリ結ばれた二人。書き下ろしパラレル完結

『風雷走雲 海への道 上』A5 オフ 74P/表紙フルカラー/ノロサン小説/700 円(180g)/18 禁

■内容 ■黄金首のサンジと『黄金塚』のゾロが出会ってしまい一緒に旅を始めるまで。

『風雷走雲 海への道 中』A5 オフ 52P/表紙フルカラー/ノロサン小説/500 円(120g)/18 禁

■内容 ■ゾロが優しいことをするので、サンジはどんどん惹かれていく。そしてゾロもサンジの乳首に…。

『忘れてもかまわない』A5 オフ 116P/表紙フルカラー/ノロサン小説/900 円(205g)/18 禁

■内容 ■味を感じられないゾロと、前立腺オナニーをしてしまう童貞サンジ。或る日はずみで性行してみたいなことをしてしまい、なにやらぎくしゃくする二人を乗せた船がたどり着いたのは『忘却の島』。

※本の重量に封筒の重さ 20g をプラスしてね！

重量	～150g	～200g	～250g	～500g	～750g	～1000g	～1500g
通常郵便	200 円	240 円	270 円	390 円	580 円	700 円	950 円
冊子小包	—	—	240 円	310 円	340 円	380 円	450 円

※冊子小包の場合は、お送りする封筒の一部に穴をあけ中が本であることを確認出来るようにします。

▼お申し込み方法▼

- ① 価格分の無記名小為替(本ごとに分けなくていいです)
- ② 送料分の切手(本の重さ+封筒の重さ 20g)
- ③ 欲しい本のタイトル、冊数を書いた紙
- ④ 宛名シール(様までつけてね)
- ⑤ 返信用封筒(80円切手を貼りあなたの住所記入)
(何事も無ければお返しします。次回ペーパー希望の場合はどっかにその旨を書いてください。)

以上の①～⑤を同封して、連絡先の住所までお申し込みください。

連絡先

〒270-0199
千葉県流山市 流山郵便局留
「迷走海底」
メールアドレス: ajirou@csc.ne.jp



**2002/12/25 から再び
住所変わりました！**

ろう。

「あーあ、なんでおれアこんな腹巻野郎とホモみて
いなことしたんだ」

「しかもなんつか、……おれがレディ役で」

サンジは思いつき眉間にシワを寄せた。

「ホンモノのレディのほうがいいに決まってるんだ
ろが」

そう考えてから、

「……ん？」

天井を見て少し考える。

首をかき上げる。

「……」

ちよつぱり唇を噛む。

「……」

「……おい腹巻、デメエ、どんなオツパイが好きだ」

「ああ？」

「すげエ巨乳か？ それともロリっぽい小ぶりち
やんか？」

「いきなりなに言ってるんだエロコック」

「いーから答えるよ」

ゾロは素早い動作でガバリと身を起こし、サンジ
の体に覆いかぶさってきた。

サンジは両腕で押し返そうとするが、パワー勝負
じゃちよつとばかり分が悪い。開いた足の間にゾロ
が入り込み膝で押さえ込まれる。

「クソ！ 身動きがとれねえ！」

目の前には、陰になったゾロの顔。なんだか荒く
息をしながらニヤリと笑う。

「んなことよか、やらせろ」

「……デメエは本当、ヤレリやなんでもいーんだな
ッ」

「んなことねエ。おれはコレがいい」

ゾロが頭を下げたので、短い髪がサンジのアゴの
へんに触れた。

直後、

ペロリと、乳首を舐め上げられる。ゾクゾクした
もんが湧き上がる。

「う……」

サンジの肩にビクンと力が入った。

「色艶といい感覚といい、これが一番だな。やっぱ」

ゾロは荒っぽく舐めまわしながらも器用にしゃ
べる。ゾロの少し硬い舌が乳首と乳輪のキワのへん
をぐるぐるするたびに、サンジは口を開けたままぶ
るつふるつと体を小刻みに震わせた。

「あ……っ、は……」

ゾロを押していた腕の力は緩み、拳の果てにみ
つともない声まで漏れる。

「……」

そんなこんなで、結局サンジはゾロに二回目をや
られてしまった。

しかも騎乗位。

前立腺をダイレクトに叩かれるような苦しい射
精を何度かさされ、ゾロの精液を腹の奥に大量に
受けて、サンジはようやく体を倒すのを許された。

腰を浮かせてズリと引き抜くと、場所を選ばず
力もなくゾロの上にぐつたりと倒れる。

汗ばんだ硬い筋肉の奥で、ゾロの心臓がえらくや
かましくドクドク言っている。荒っぽく上下するし
やたらと熱い。

しかも気付けば腰を押さえつけていた両腕が、片
方頭の後ろに、もう片方は背中に戻っていて、ギョ
ウギョウ抱きしめてくる。

「離せ……あつくるしーだろ……」

「……うっせエ」

ゾロの腕にグつと力がこもり、サンジの頬はます
ますゾロの大胸筋に密着する。

サンジは

「デメエの胸じゃ、ぜんぜんやすらげねーってんだ
クソ……」

とか思いながらも、

この船に乗って間もない頃、ゾロが突然コクハク
なんてしてきた時の凄みのあるまじめ腐った顔が、
ホンワカと頭に浮かんできた。

「……おい、腹巻……デメエ胸囲、九十センチく
れー、よゆーで超えてんだろ」

「ああ？」

サンジはちよつと笑った。

強烈だった快感が穏やかに全身に溶けるととも
に、トロトロと眠くなってきた。

ゾロの胸は、鼓動が落ちてきた今も相変わらず
ず熱い。多分、この傷跡の奥にある、野望やらなん
やらから滲み出す温度なのだろう。

「おれも、コレでいいか」

バレない程度の小さな動きで、サンジはゾロの胸
に頬をすり寄せてた。

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……」

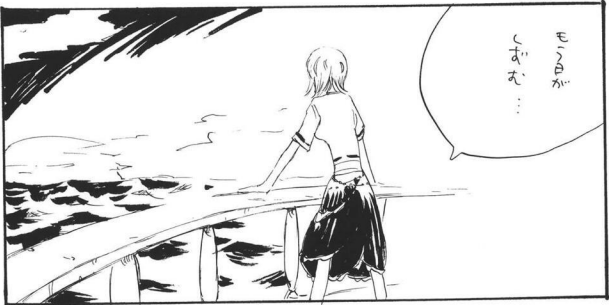
「……」

「……」

「……」

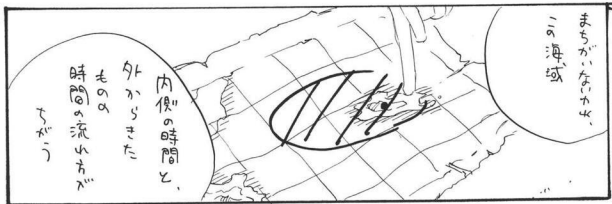
R

KIOKS & MEISOUKAITEI



もっ
くすな
...

そのうみは、
一日に
夜が8回また



あ、い、ない、か、
シ、海、底、

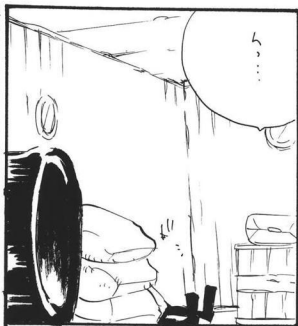
内側の時間と、
外からきた
ものの
時間の流れ方が
ちがう

ロカは
くらんた

この時までは、
私たち
うさぎとウサギ、
な、な、な、



・ソロがおぼかにもっていくことの ひとつ / 両替ギルド・









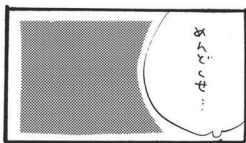


と、
や、
つ、
も、
り、
て、

三
二
一
12



70 直行



めんとせゝ



た
ー
か
ー
ら
ー
。

(2)

4 4" 4"
1 1 1
4" 1 1

なんだア？

なーら
こゝ寝太郎が、
なんだとは
なんだ

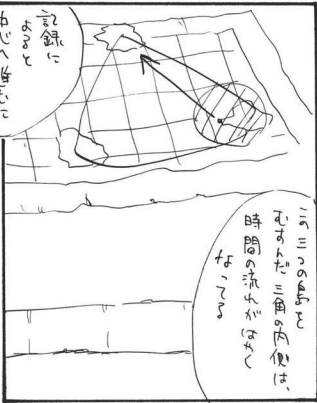


へう私たちが
どーやーお兄に
おかしてまは
さかっさるおっ

まーな



ミミの部屋で
お兄さんのは、
時間の流しがはく
なこも



記録に
おいて
お兄さんへ
おいておいて
おいておいて

お兄さんへ
おいておいて
おいておいて
おいておいて



んー









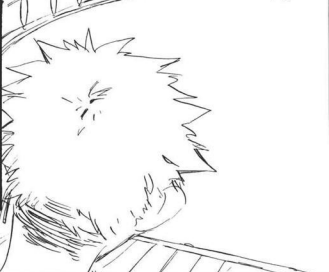
「この島を「お宝」って
「この島」が、結果お宝だいた
わかんないよ」

「この島に「お宝」ってあるん
じゃないかなって思ったんだけど」

「お宝って何かな...
「この島」って何かな」

「お宝って、この島全体を
「この島」って呼ぶんだって
って聞いたよ」











つまんねえ
つまんねえ
つまんねえ





てめーは...
後先
まごころ
...

サニだ...
...

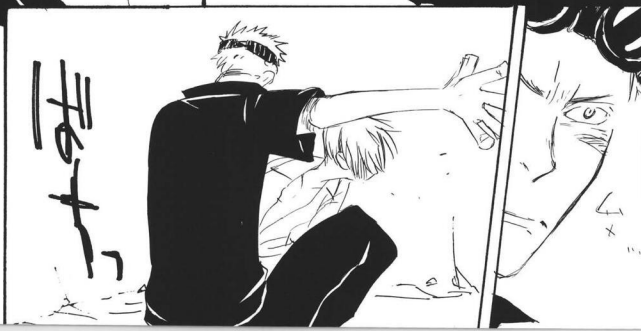
アレが...
ハ...
...



お
あ...
...

おい
...

い...
キ...
日...
結果オーライ
だろ











うん、うん
お、お、お



お、お、お...
お、お、お...

お、お、お...
お、お、お...

お、お、お...
お、お、お...

オールド・ブルーモ
ニ・ナ・カ・ナ・ッテ

アホ。
クナニと
あまけけーだろ

外の田舎に
 かかり
 つけよう
 といふ
 ことだ
 といふ
 ことだ
 といふ
 ことだ

世はいつか
り
2256

次まなかつた。

[illegible][illegible]

わあ、こゝろ

√10がaはxにそいていくことと、x / aが11

KIOKSはあまぐれキドのこいんさーくです

好きなものを好きなようにかうぜうちやう

サンジはえいえんのあいどろ

VIOサニはたぶんずいかる

エーλはう+

ジュライやきえ

gido_kioxs@hotmail.com

<http://tokyo.cool.ne.jp/kumogakure/index.htm>



迷走海底

アジ郎

ajirou@csc.ne.jp

<http://www.din.or.jp/~botan/>

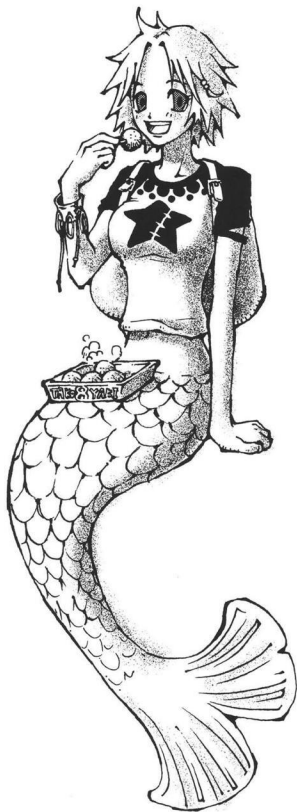
小説でゾロサンばかり

書いています。

エロティックです。いつも..



マソフトキカラ
おちんぼろ



R

2003.3.29

KIOKS & MEISOUKAITEI

KIOKS

雨暮ギド

gido_kioks@hotmail.com

<http://tokyo.cool.ne.jp/kumogakure/>

迷走海底

アジ郎

ajirou@csc.ne.jp

<http://www.din.or.jp/~botan/>

KIOKS 迷走海底